



小雨が降る中、登山者でにぎわった七時雨山山頂

# 話題

## ピックアップ

### まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。  
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

## 名峰に夏山シーズン到来

七時雨山・八幡平で3年ぶり記念登山を実施

七時雨山山開きは5月22日、西根寺田登山口で行われ、関係者ら35人が参加。3年ぶりに実施の記念登山で登山隊が新緑の頂を目指しました。

八幡平山開きは6月1日、山頂レストハウスで開かれ、本市と秋田県鹿角市の関係者ら60人が参加。残雪の山頂で、両市の山岳会らで編成された登山隊が万歳三唱で登頂を祝いました。

市山岳協会の鈴木信一さんは「四季によって変わる山の景色を楽しんでほしい」と呼び掛けました。



鹿角市山岳会と翌檜山岳会が八幡平山頂でピッケル交換



地域住民の指導を受けながら一株ずつ手植えをする児童

## 太陽浴びてどんどん育て

地域住民の協力のもと寺田小で田植え体験

寺田小は5月16日、同校近くの水田で田植え体験を行い、5、6年生の24人が水稻の苗を手植えしました。

体験学習をサポートする地域ふれあい会の工藤忠義会長が「愛情をかけて育てると、お米は美味しくなるよ」とあいさつ。児童は丁寧に植え進め、無くなる都度、渡される苗で飛び跳ねる泥に歓声を上げました。

6年生の田村桃悟君は「水は冷たかったけど、心を込めて植えたのでおいしくなってほしい」と収穫に胸を膨らませていました。



平舘小の1、2年生38人がひょうたん池へ遠足(6月10日、平舘八幡宮付近のひょうたん池)



順調に収穫が進む市特産のほうれん草(6月13日、南平笠、高橋政孝さんのハウス)



各地区から52人が参加し日頃の練習の成果を発揮(6月8日、第17回市長杯ゲートボール大会)



説明を受け、施設や設備を確認する利用予定者

## 開所に向けて準備が進む

市繁殖育成センターの利用者集会を開催

新岩手農業協同組合は6月9日、市繁殖育成センター利用者集会を八幡平営農経済センターで開催しました。

当日は預託を予定する12人が出席。7月1日のプレオープン、9月1日の本オープンに向けた進捗状況や飼料の説明を受けた後、実際の施設を確認しました。

黒毛和牛の預託を予定する鈴木真司さん＝渋川＝は「種付けから分娩、出荷までが可能な施設であり、稼働が待ち遠しい」と施設に期待を込めました。



ゆっくりとバケツを傾けながら稚魚を放流する園児たち

## 放流で河川に関心深める

松川淡水漁業協同組合がアユ放流会を開催

松川淡水漁業協同組合(高橋光男組合長)は5月26日、漁場環境の保全と稚魚放流による増殖を目的に、松川橋付近でアユの放流会を開きました。

放流会には、杉の子こども園の園児44人が参加。同漁協組合員指導の下、元気な声で「大きくなってね」などと声を掛けながら放流しました。

今回の放流会では、稚魚150<sup>キ</sup>約1万5,000匹を放流。同漁協では、ヤマメやイワナの稚魚も10月頃から放流していく計画です。

## プール開きが待ち遠しい

松野小の児童が水泳学習に向け元気に清掃

松野小の4～6年生児童49人は6月10日、水泳学習に向けて使用するプールの清掃を行いました。

4年生は小プール、5、6年生は大プールの清掃やレーンロープを準備。冬の間に床や壁面に付着した汚れを水で濡らしながらデッキブラシでこすると、さわやかな水色を取り戻しました。

5年生の遠藤大志君は「掃除も楽しいけど、早くプールに入りたい。今年はいろいろな種目を泳げるようになりたい」と心を躍らせていました。



歓声を上げながら、一生懸命めめりを洗い流す児童

## 地域密着で頼られる存在

民間企業と連携、高齢者等の見守り強化を図る

市内で牛乳など乳製品の宅配を中心に展開している岩手町ミルクセンターと市は5月20日、市役所で高齢者等見守りネットワーク事業協定書を取り交わしました。

市は、民間事業者と協力し見守り活動を強化することで、高齢者や子どもの異変を発見した場合、適切な支援につなげます。

同センター高田良子代表は「配達中に相談を受け、心配事を話す人も多い。引き続き見守り活動に取り組んでいきたい」と意気込みました。



同センター高田代表(中央)、高田専務(左)と佐々木孝弘市長



友好の絆を再確認する渡具知市長(左)と佐々木市長

## 市民交流再開に取り組む

市長が友好都市の沖縄県名護市を表敬訪問

佐々木孝弘市長は5月26日から28日までの日程で、市長就任後初めて友好都市の沖縄県名護市を訪問し、渡具知武豊名護市長への表敬訪問や八幡平市への派遣経験のある職員との意見交換などを行いました。

表敬訪問では友好都市交流について、現在行っている職員の相互派遣を継続することで一致したほか、渡具知市長は「新型コロナウイルスの影響で縮小している市民レベルの交流について、情勢が落ちついたら再開したい」と期待をにじませました。



集めたキャップを第一生命(株)盛岡支店長に手渡す

## 活動通じSDGsを学ぶ

世界中の子どもたちにワクチンを届けよう

安代中学校は5月18日、JCV(世界の子どもにワクチンを日本委員会)の活動に賛同し、ペットボトルキャップを集め、回収事業に取り組んでいる第一生命(株)盛岡支社合田守支店長に手渡しました。

同校はSDGsの取り組みの一環で3年度から家庭にある不要になったペットボトルキャップ回収を始め、ポリオワクチン11人分相当(約2万個)を収集。生徒会執行委員の遠藤梨音さんは「20秒に1人の命が失われている。少しでも多くの命を救いたい」と意欲を燃やしました。

## すなっぷギャラリー



大更小3年生が市役所を訪問。議場などを回り、市の仕事や仕組みを学ぶ(6月3日、大更小社会科見学)



平笠小1、2年生の児童9人が、サツマイモの定植体験(5月31日、サラダファーム食育体験)



土屋正恵さんが五輪報告会に出席し、地元の子どもたちを激励(6月5日、五日市コミセン)



夏本番に向け、アルパカのナナちゃんがクールビズ仕様に变身(6月13日、サラダファーム)



5月15日で100歳を迎えられた田村忠兵衛さん＝野口＝これからもお元気で(5月17日、むらさき苑)